

災害に備えた取組みを普段から準備する

よしかわだより

令和2年3月1日(2019-12)

発行者: 吉川まちづくり自治協議会
☎082-429-1879(吉川地域センター内)
yoshikawajitikyo@outlook.jp

向こう3ヶ月の天気予測等が発表され、梅雨期の大雨、夏期の高温等昨年と同じ予測とされています。温暖化による異常気象等、大きく住環境が変化しており、地震を含めた自然災害への備えが問われています。



平成30年5月、これまでの取り組みを集約化する方向で、地域の防災組織と吉川地区自主防災会を結成しました。会は日頃から自然災害に備えるとともに、災害時は地域の束ねとして組織的対応の役割を担います。自然災害の供えと取組みを紹介します。

災害時、支援希望者への支援体制を作る
市内各地域の取組みは避難行動要支援者避難支援は、民生児童委員が市からの依頼で聞き取りを行い、支援を求めるところへの対応を地域として準備しておくものです。吉川地区社会福祉協議会の枠で連携を図っています。

災害時の地域情報を的確に伝える
災害の前・最中の的確な情報発信は、欠かせません。吉川地域では、平成28年

吉川地域では避難所利用実績がなかったのですが、近年増加傾向にあります。必要な時に利用しやすい避難所作りを取り組んでいます。①避難者受入れ態勢の支援検討②救援物資、応援資機材配備

よしかわメールシステムを導入し、地域一斉に情報を発信しています。加入率は60%です。メール加入は、いつでも受付けています。行政・住民が連携し避難所運営を行う



【地元地権者会の設立総会模様】

防災マップを活用 確実な避難行動
災害時の避難にあたって、危険個所と避難ルートをあらかじめ確認しておくことが重要です。昨年11月から防災マップ作りに取り組んでいます。(2月の作成集会は、時節柄延期しました)

工業団地西側エリアの 地元地権者会が発足
吉川工業団地内西側地区(おおよそ12ヘクタール)の地権者である組織団体の役員が集まり2月11日地権者団体(地元地権者会)を発足させました。現在、西側地域は、準工業地域と指定されている区域です。

吉川地域のこれからは、現在法令の規制らには住民増が必須、対象地であるもの。そのためには?の趣旨で話し合いを進めている吉川活性化プロジェクト(PJT)組織等の役員と意見交換をしました。

吉川活性化PJTテーマ「住宅地化推進」で 本郷・東郷・清水原地区役員と意見交換

今後、地元地権者会としては、市役所関連部署と連携し、進出企業情報を注視し、具体的進展にあたっては、吉川地域の安心安全と快適性の維持向上を最優先のテーマとして、地域のこれからに対応していくこととされています。

地元地権者会は、企業の誘致によってこのエリアの整備を進め、吉川地域の活性化と今後の地域課題解決に向けた契機としたいの思いから、この時期の発足としました。

吉川財産区、吉川土地改良区、下ノ原講中の5団体で構成されています。

見交換をしました。会は、2月11日午後からエリアの役員21名、市地づくりに推進課、PJT等合わせて26名が参加し開催。最初にPJTから、これまでの審議内容を報告した後、



2月2日(日)吉川地域では一斉に、主要な道路わきに捨てられた空缶、空瓶の回収作業を実施しました。

ポイ捨て缶瓶回収 道路わきのごみも
2月2日(日)吉川地域では一斉に、主要な道路わきに捨てられた空缶、空瓶の回収作業を実施しました。

出席者からは、新たな宅地化について特に50戸連たん制度

この条件をクリアできるとは、PJTとしては、これから検討段階で具体的なテーマに絞っての意見交換会を重ねていくこととされています。

の条件をクリアできるとは、PJTとしては、これから検討段階で具体的なテーマに絞っての意見交換会を重ねていくこととされています。

した。あわせて道路周辺に捨てられたごみの回収も行いました。令和元年度4回目となる今回、空缶18袋と空瓶11袋を回収しました。収集したごみは市が搬出しました。今年度の作業は終了しましたが、来年度も引き続き実施します。次回は5月を予定しています。



この条件をクリアできるとは、PJTとしては、これから検討段階で具体的なテーマに絞っての意見交換会を重ねていくこととされています。

この条件をクリアできるとは、PJTとしては、これから検討段階で具体的なテーマに絞っての意見交換会を重ねていくこととされています。

吉川小学校5年生の協力を得て 一人住まいの高齢者に配食事業

お一人住まいの高齢者宅の皆さんに、年2回お弁当などをお配りしているあつたか交流事業を2月12日開催しました。早朝から吉川まちづくり女性部とボランティア(民生児童委員、見守り協力員、住民有志)の方が参加し弁当を作りました。



【配食へガンバルぞーOh!!】

午前には、吉川小学校5年生9名と担任の松永先生のご協力を頂いて、お宅22件に弁当などをお届けしました。今年度からは、吉川地区社会福祉協議会と高齢者困りごとサポート事業(地域介護予防等活動応援事業)の

市内、通いの場に集う人が集合

2月6日つながり交流会

東広島市内で通いの場(吉川II吉川げんき塾)に取り組みむ住民約80組織百五十名余りが参加してつながり交流会が開催されました。会では、通いの場で活用できる講座の案内・手芸などの紹介があった後、グループに分かれて、各地区の通いの場の開催模様を話し合いました。



えっと健康！ぶち笑！ちいとやってみようや東広島

リ化や世話役の悩みが出され、グループ内で意見交換しました。吉川げんき塾は間もなく5年6か月となります。市内全域では百五十組織三千名余りが週一回体操・脳トレ・茶話会などに集っています。

一環としての協働事業としています。吉川エリアでは65歳以上の住民が全住

「あつたか笑顔のまちづくり講演会」 認知症介護体験談などを紹介

市と市社会福祉協議会が主催する、あつたか笑顔のまちづくり講演会が2月22日八本松地域センターに約百七十名を集め開催されました。認知症の基礎知識に続いて、座談会形式で、認知症介護体験談を紹介して頂きました。



認知症介護の体験談を話す梅谷さん(民児委員) 景山さん(あゆみの会)難波さん



親子の方との対話模様

その一人として参加した梅谷民生児童委員(吉川)は、しゅうとの介護体験談として「百歳で他界するまでの8年間在宅で介護した。意外な

民に占める割合が42%、高齢者の運転免許返納、老老介護など、これからの高齢者福祉課題を住民段階でも考えていく必要があります。

地域住宅地化を推進 活性化PJT会議

吉川地域の住宅地化促進を検討している吉川活性化プロジェクト(PJT)第12回会議を2月13日に開催しました。会議では、トライアングルゾーンに居住される組織団体役員の方々の意見交換模様、こども未来部保育所、小学校など子育てに係る方とのヒアリング模様をベースに話し合いました。

ひとむすびマーケットに引き続き参加し 吉川紹介活動を展開

ひとむすびマーケット(地元大学生がプロデュース)が2月23日市役所北隣の広場で開催されました。引き続き吉川自治協議会として参加し、ふれあいの里による地元野菜の販売と吉川小学校保護者の協力を得て吉川小学校紹介を行いました。

吉川まちづくり自治協議会…3月予定表

- 3/11: 高梁市社協 意見交換会
 - 3/12: 第12回吉川活性化PJT会議
 - 3/22: 第2回粗大ごみ収集(燃えるゴミ)
 - 3/28: 第7回理事会
 - 3/29: ひとむすびマーケット
- ※(市): 市主催行事
開催日等が変更となる場合があります

元気輝きポイント認定団体
吉川げんき塾: 3月スケジュール
毎週木曜日10時~11時30分
於: 吉川地域センター

- 3/5: 体操と脳トレ
 - 3/12: 体操と脳トレ
 - 3/19: 体力測定・年度修了式
 - 3/26: 休み
- 介護予防・認知症予防に
取り組んでいます。
どなたでも・いつからでも参加できます。

よしかわの1枚



ふるさとありがとう集会
(2月1日: 吉川小学校)

ひがしひろしま市民活動情報サイトもご覧ください
<http://higashihiroshima.genki365.net/>